

第 49 回那覇大綱挽運営について

1. くうふんなすねーい（旗頭行列）について

(1) 交通規制は右の時間帯とする。

※行列総責任者：（新垣龍太）

副委員長：（仲原英太郎）が努めます。

国際通り	交通規制	11:30
	交通止め（旗入出発）	
	規制解除（車両進入）	14:00

(2) 今回は東が先頭で、東の行列最後尾は真和志、西の行列最後尾は小禄です。（タイムスケジュール確認）

(3) 行列委員長は、東一番（高良雅秀）、西一番（潮平 晃）です。

行列副委員長は、東西の後尾、真和志（田島繁）、と小禄（照屋吉章）です。（時間管理の役割：重要）

(4) 行列隊形は、昨年同様5列縦隊とする。

(5) 当日、集合場所への移動で車道を行進する場合は警察の許可が必要の為、該当する地域は早めに各自で申請すること（申請用紙に記入、車順の図面を添付）

(6) 肩章は右肩からかけるよう統一する。

(7) 打楽器は白足袋の代わりに白運動靴を履いてもよい。小旗持ち熱中症予防対策は体育用白い帽子とする。

(8) 太鼓の数は原則として30名とし、その前後の増減は認める。

(9) 火砲（爆竹）委員は西7名・東7名の計14名と先導役1名（東一番）、それ以外の使用は絶対禁止する。

(10) 先導役は国旗、県旗、市旗の前の「ドラ・爆竹」役、各1名今年は先頭の東一番から配置する。

2. 〈大綱挽について〉

(1) 交通規制の時間帯は右のとおり

（式典は14:45より）

国道58号	交通規制	14:30
	交通止め（旗入場）	
	規制解除（車両進入）	19:00

(2) 大綱の規格・・・雄綱の長さ：100m 雌綱の長さ：100m（全長200m）

総重量：40t 直径：1m56cm 手綱数：280本

(3) 綱の装飾・・・県旗・市旗で飾る

(4) 各実行委員から一人（綱方）監視員を充て、綱挽前に綱の切取をさせないように注意する。（特に本体は注意）

(5) 昨年同様、カヌチ貫の際、各実行委員会から10名（内カヌチ整理3名）づつ動員して下さい。（新突き棒20本準備）、六尺棒（大）は本部席前（指揮台の横）に準備しておきます。カヌチ担当は、あらかじめ確認しておいてください。放置すると危険なので、使用後は必ず元の場所に戻してください。（持ち帰る観客が？）

(6) カヌチ棒挿入後、綱あてをして中央を決め安全対策をすること。（昨年同様）

(7) 支度 [西] 阿麻和利（アマワリ） [東] 鬼大城賢勇（ウニウフグシクケンユウ）

(8) 後尾は支度寄せのスタートや支度見栄後退いて、終了の合図は（西東の最後尾の綱方が黄色旗を振る）

(9) むーちゃんちー（守護旗）持ちは、東西後尾の実行委員会（東：真和志、西：小禄から各4名動員をお願いします（守護旗は本部席前で受け取る）。*支度台は、実行委員でかつぎ手をしてもらいますが、各実行委員会綱方は、支度の出入りの順調な通行ができるよう手綱を持たさない等の観衆へ強力な呼びかけをお願いします。

(10) 大綱挽・・・1回のみ、制限時間30分

(11) 勝負規定・・・判定勝ち：2m以上

引き分け：2m未満

（第48回現在勝敗、東の16勝14敗15引分）

勝 ち	5 m
判定勝ち	2 m以上
引き分け	2 m未満

(12) 安全対策について・・・催事中の事故発生の場合は、直ちに本部に連絡を取る（伝令）また、緊急の場合サイレンを長音で3回以上区切って鳴らし合図する。

緊急時については、サイレンと同時に場内アナウンスも行う。

勝負決定した時は、サイレンを1回鳴らして合図する。（その後、勝敗のアナウンスを行う）

(13) 各実行委員会の備品は…各実行委員会で持ち帰る（但し六尺棒等については本部・指揮台の横に返却）